
資料編

資料-1	68
資料-2	80
資料-2 (別表)	81
資料-3	82

平成26年度
大田区多文化共生実態調査
【報告書概要版】

平成26年10月

大 田 区

I. 調査の目的

この調査は、大田区内の外国人（調査対象2,000人）および日本人（調査対象1,000人）の意識・要望を把握し、その結果を今後の多文化共生推進プランの改定に反映させ、多文化共生に向けた事業展開に役立てることを目的としている。

II. アンケート調査の調査方法等

アンケート調査は、「外国人区民調査」および「日本人区民調査」の2つの対象に向けた調査票を用いて行った。

1. 調査設計

	外国人区民調査	日本人区民調査
調査地域	大田区内全域	大田区内全域
調査対象	区内に在住する外国籍区民 20歳以上の男女個人 2,000人	区内に在住する日本国籍区民 20歳以上の男女個人 1,000人
調査方法等	○抽出方法： 住民基本台帳からの無作為抽出 ○調査方法：郵送配布一郵送回収 (礼状兼回答依頼のハガキ1回) ※日本語ルビ付版と対象者の国籍 に合わせた翻訳版の調査票を同封	○抽出方法： 住民基本台帳からの無作為抽出 ○調査方法：郵送配布一郵送回収 (礼状兼回答依頼のハガキ1回)
使用言語	英語、中国語、韓国・朝鮮語、 タガログ語、ネパール語	
調査期間	平成26年7月23日～8月8日	平成26年7月22日～8月8日

2. 言語別調査票発送の内訳（外国人区民調査）

言語	発送数（部）
日本語ルビ付	2,000
英語	440
中国語	789
韓国・朝鮮語	394
タガログ語	230
ネパール語	147
小計	2,000

3. アンケート調査の回収状況

	外国人区民調査	日本人区民調査
標本数 : A	2,000人	1,000人
郵送物未着数 : B	73人	6人
郵送物未着率 : $C=B/A*100$	3.7%	0.6%
総回収数 : D	569人	435人
無効回収数 : E	2人	2人
有効回収数 : $F=D-E$	567人	433人
有効回収率 : $G=F/A*100$	28.4%	43.3%

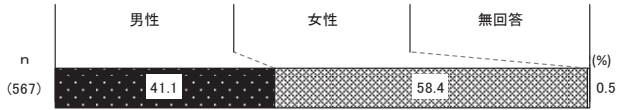
Ⅲ. 外国人区民調査

1. 回答者自身について

1) 性別

◇「男性」が41.1%、「女性」が58.4%

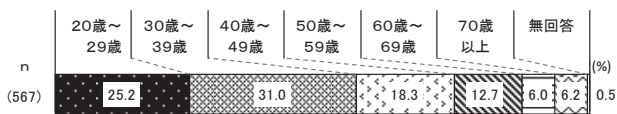
F1 性別をお選びください。(Oは1つだけ)



2) 年齢

◇「30～39歳」が31.0%で最も高い

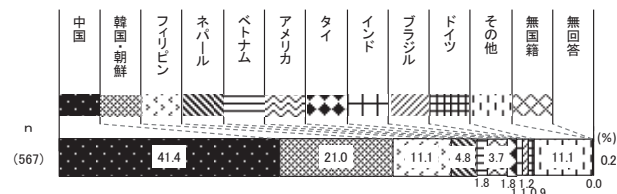
F2 年齢をお選びください。(Oは1つだけ)



3) 国籍

◇「中国」が41.4%で最も高い

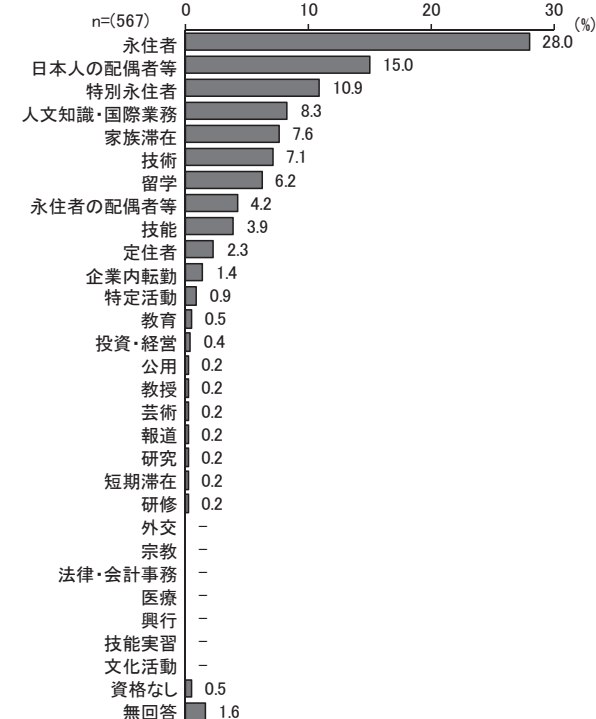
F3 国籍をお選びください。(Oは1つだけ)



4) 在留資格

◇「永住者」が28.0%で最も高い

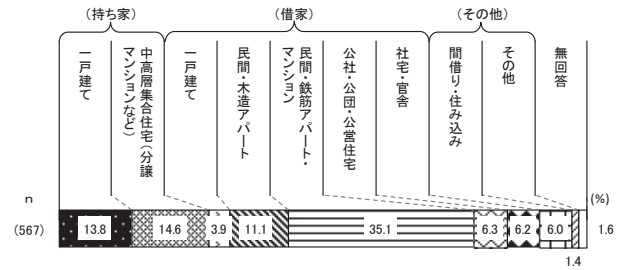
F4 日本での在留資格をお選びください。(Oは1つだけ)



5) 住居形態

◇「民間・鉄筋アパート・マンション」が35.1%で最も高い

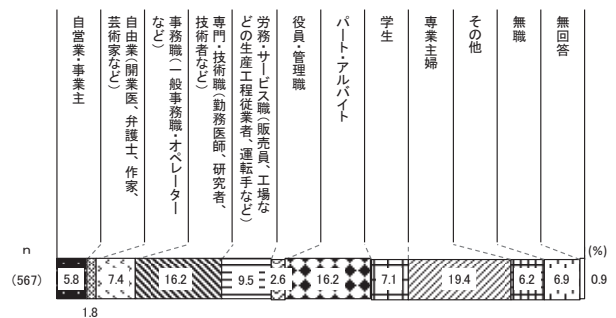
F5 お住まい(住居)は次のうちどれにあたりますか。(Oは1つだけ)



6) 職業

◇「専業主婦」が19.4%で最も高く、次いで「専門・技術職」と「パート・アルバイト」が16.2%

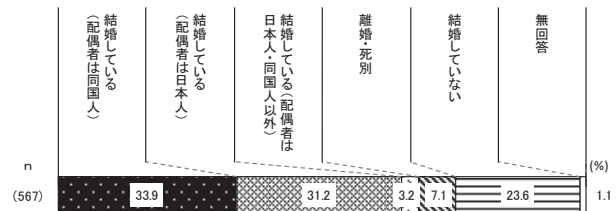
F6 職業は次のどれにあたりますか。なお、2つ以上あてはまる場合は、主として従事している職業を選んでください。(Oは1つだけ)



7) 結婚の有無

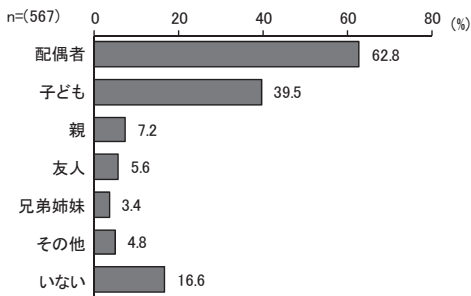
◇「結婚している(配偶者は同国人)」が33.9%、「結婚している(配偶者は日本人)」が31.2%

F7 結婚していますか。(Oは1つだけ)



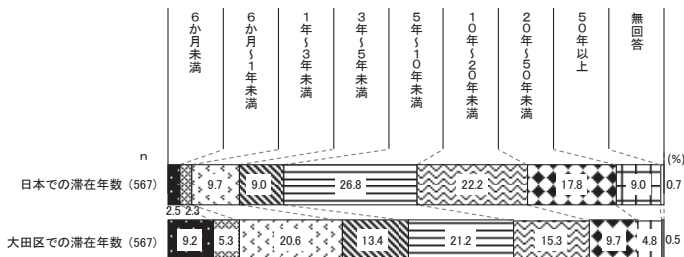
8) 同居家族

◇「配偶者」が62.8%で最も高い
 F8 現在一緒に住んでいる人はどなたですか。
 (〇はいくつでも)



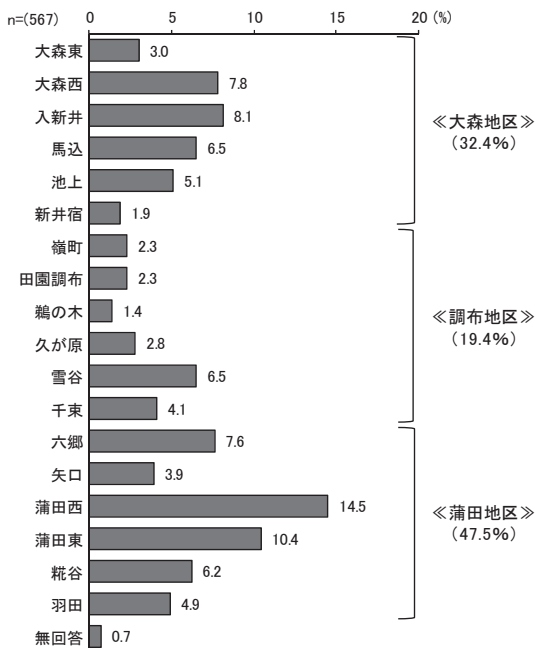
9) 日本・大田区の滞在年数

◇日本での滞在年数は「5年～10年未満」が26.8%で最も高い
 ◇大田区での滞在年数は「5年～10年未満」が21.2%、「1年～3年未満」が20.6%で高い
 F9 どのくらい日本に住んでいますか。来日を繰り返している場合は、通算してお答えください。
 F10 どのくらい大田区に住んでいますか。転入・転出を繰り返している場合は、通算してお答えください。
 (〇は1つだけ)



10) 居住地域

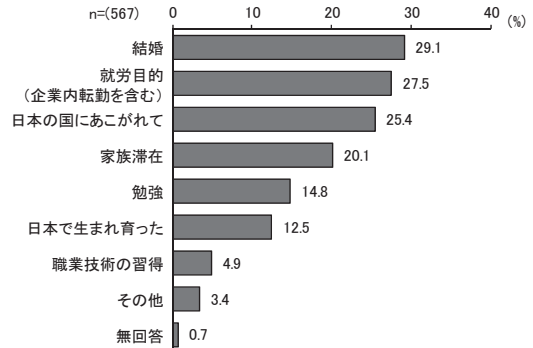
◇「蒲田地区」が47.5%で最も高い



2. 日ごろの暮らしについて

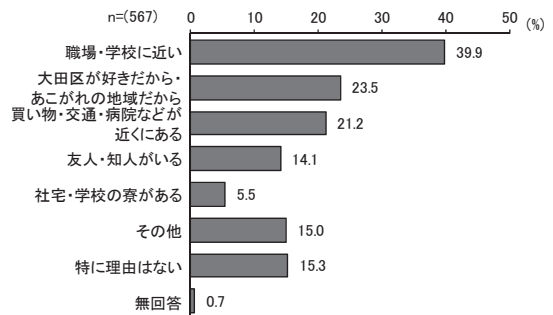
1) 日本での滞在目的・理由

◇「結婚」が29.1%で最も高い
 問1 日本での滞在目的または理由は何ですか。
 (〇は1つだけ)



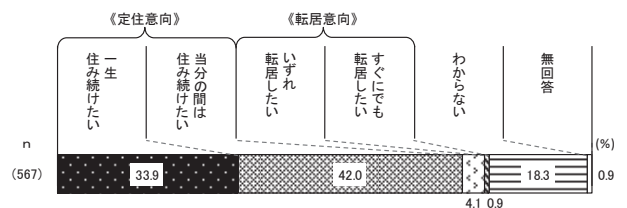
2) 大田区に住む理由

◇「職場・学校に近い」が39.9%で最も高い
 問2 大田区に住む理由は何ですか。(〇はいくつでも)



3) 定住意向

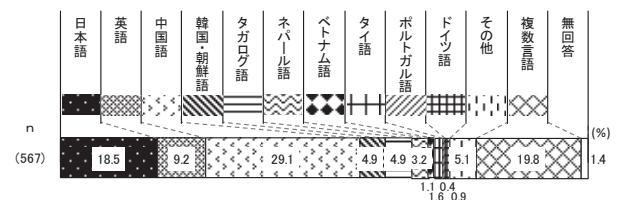
◇「定住意向」が75.9%
 問3 これからも大田区に住み続けたいと思いますか。
 (〇は1つだけ)



3. ことばについて

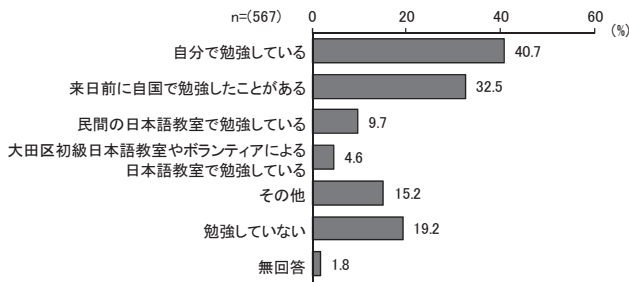
1) 最も得意な言語

◇「中国語」が29.1%で最も高い
 問4 最も得意としている言語はどれですか。なお、2つ以上の言語を得意としている方は主として読み書きの得意な言語を選んでください。(〇は1つだけ)



2) 日本語の勉強

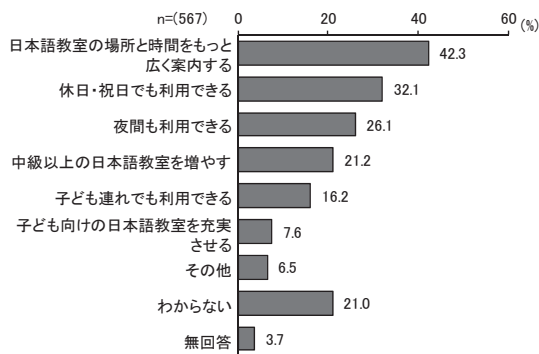
◇「自分で勉強している」が40.7%で最も高い
問5 日本語を勉強していますか。(〇はいくつでも)



3) 日本語教室を利用しやすくすること

◇「日本語教室の場所と時間をもっと広く案内する」が42.3%で最も高い

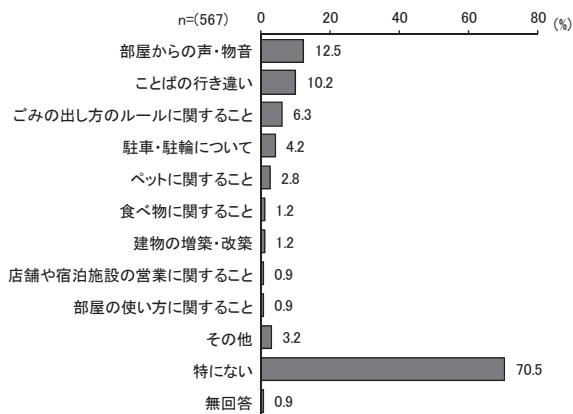
問6 大田区内には、大田区主催の日本語教室やボランティアによる日本語教室があります。日本語教室がもっと利用しやすくなるために今後どのようなことが重要だと思いますか。(〇はいくつでも)



4. 日常生活について

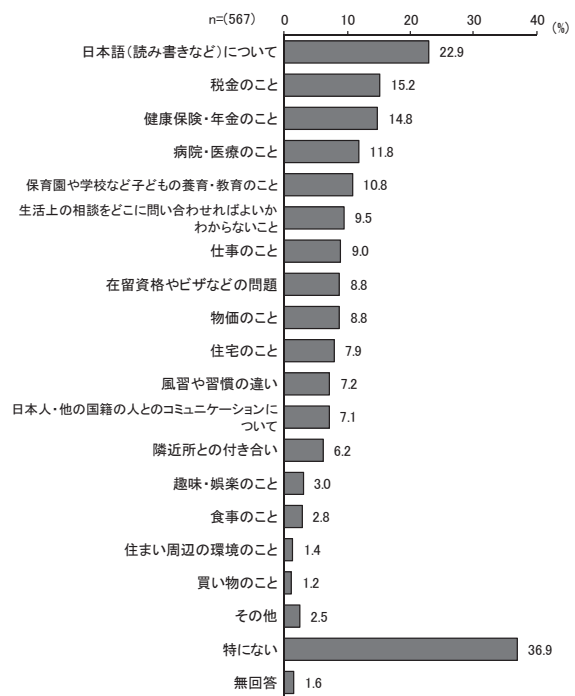
1) 日本人との関係で困った経験

◇「部屋からの声・物音」が12.5%で高い
問7 今までに、近くに住む日本人との関係で困った経験がありますか。(〇はいくつでも)



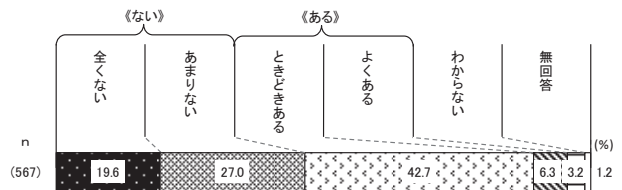
2) 日常の暮らしの中で不便・困っていること

◇「日本語(読み書きなど)について」が22.9%で高い
問8 日常の暮らしの中で不便を感じていることや困っていることはありますか。(〇はいくつでも)



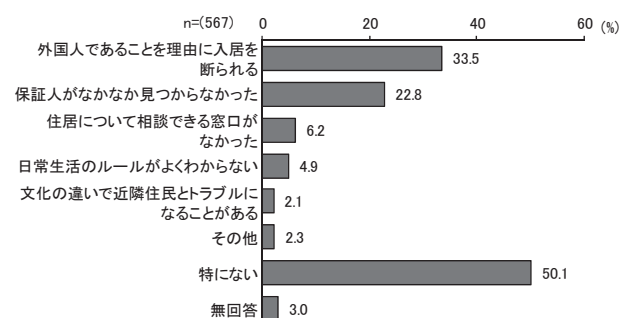
3) 偏見や差別の経験

◇《ある》が49.0%
問9 日本人からの外国人に対する偏見や差別を感じたことがありますか。(〇は1つだけ)



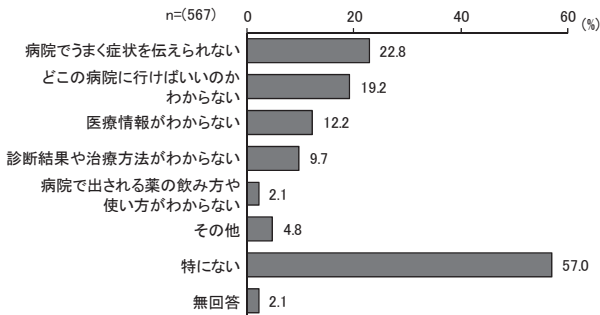
4) 住まいに関して困ったこと

◇「外国人であることを理由に入居を断られる」が33.5%で高い
問10 住まいを探したり、住んだあとで困ったことがありますか。(〇はいくつでも)



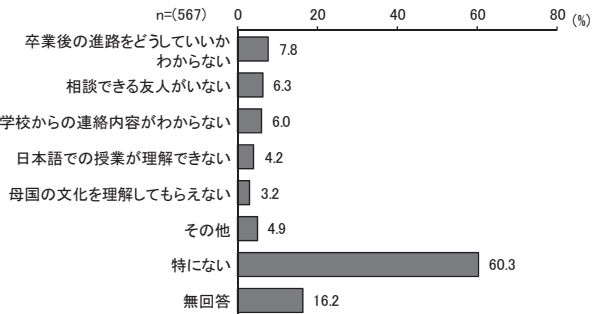
5) 病院を利用する際に困ったこと・不満

◇「病院でうまく症状を伝えられない」が22.8%で高い
問11 病院を利用する際に困ったことや不満に思ったことがありますか。(〇はいくつでも)



6) 子ども・あなたが学校で困ったこと

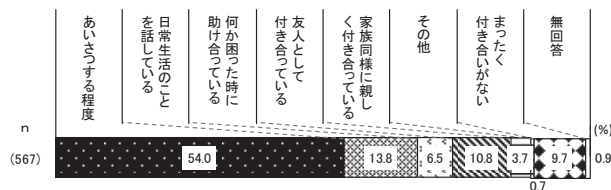
◇「卒業後の進路をどうしていいかわからない」が7.8%で高い
問12 あなたのお子さん、またはあなたが学校で困ったことがありますか。(〇はいくつでも)



5. 地域での交流について

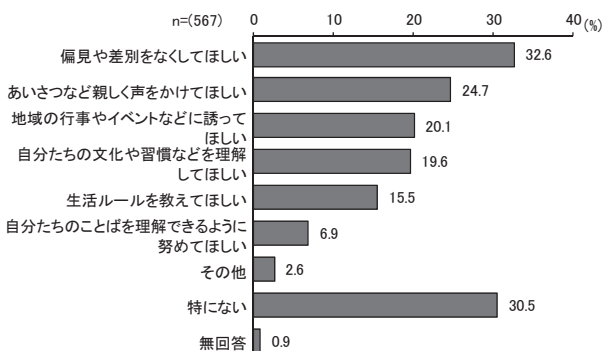
1) 近くに住む日本人との付き合い

◇「あいさつする程度」が54.0%で最も高い
問13 近くに住む日本人とどのような付き合いがありますか。(〇は1つだけ)



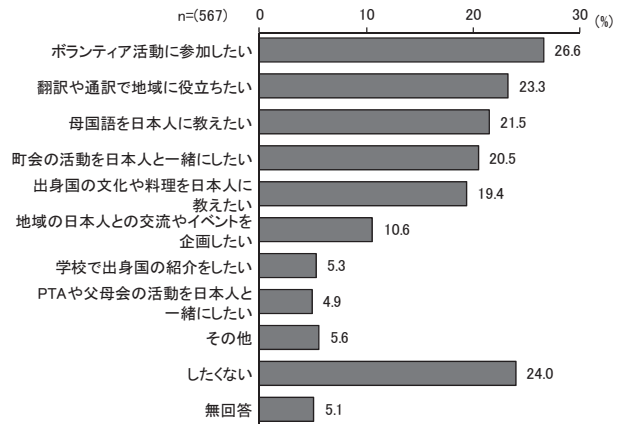
2) 地域社会の一員として日本人に望むこと

◇「偏見や差別をなくしてほしい」が32.6%で最も高い
問14 地域社会の一員として、あなたが日本人に望むことはなんですか。(〇はいくつでも)



3) 地域の中で活動してみたいこと

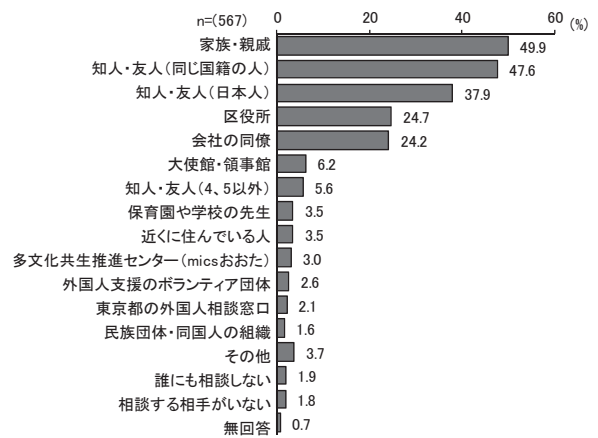
◇「ボランティア活動に参加したい」が26.6%で最も高い
問15 地域の中でどのように活動してみたいと思いますか。(〇はいくつでも)



6. 情報提供・相談体制について

1) 生活で困ったときの相談先

◇「家族・親戚」が49.9%で最も高く、次いで「知人・友人(同じ国籍の人)」が47.6%
問16 生活で困っていることがある場合、どこ(または誰)に相談しますか。(〇はいくつでも)



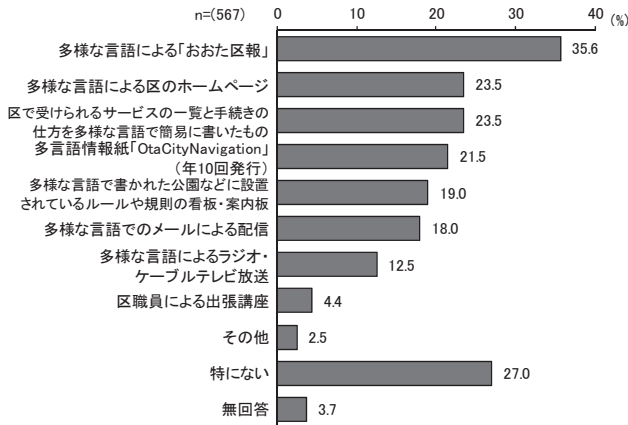
2) 外国人同士の仲間やグループの有無

◇「ない」が66.1%
問17 外国人同士で相談したり、情報交換などができる仲間やグループがありますか。(〇は1つだけ)



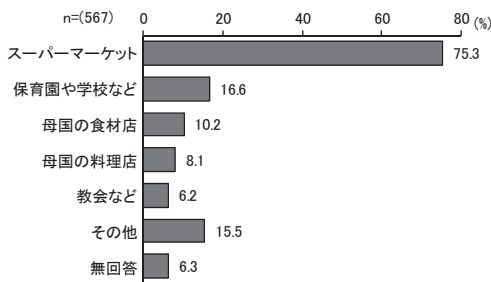
3) 行政サービス等の周知手段の希望

◇「多様な言語による「おおた区報」」が35.6%で最も高い
 問18 行政サービスやらしの情報・ルールなどをもっと知り、利用するためにどのような手段を希望しますか。(〇はいくつでも)



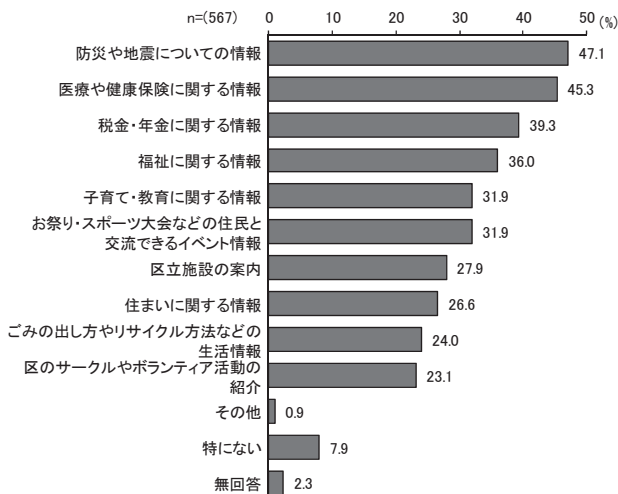
4) 区役所発行の情報紙の設置場所の希望

◇「スーパーマーケット」が75.3%で最も高い
 問19 区役所で発行している情報紙を置いてほしい場所はどこですか。(〇はいくつでも)



5) 大田区で生活していく上で必要な情報

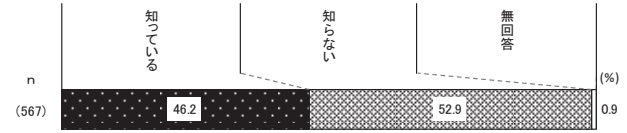
◇「防災や地震についての情報」が47.1%で最も高く、次いで「医療や健康保険に関する情報」が45.3%
 問20 大田区で生活していくうえで、どのような情報が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



7. 災害・緊急時の対応について

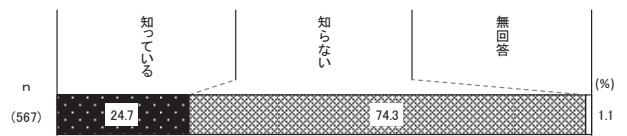
1) 地域の避難先の認知度

◇「知らない」が52.9%で「知っている」を上回る
 問21 地震などの災害のときに、避難する場所を知っていますか。(〇は1つだけ)



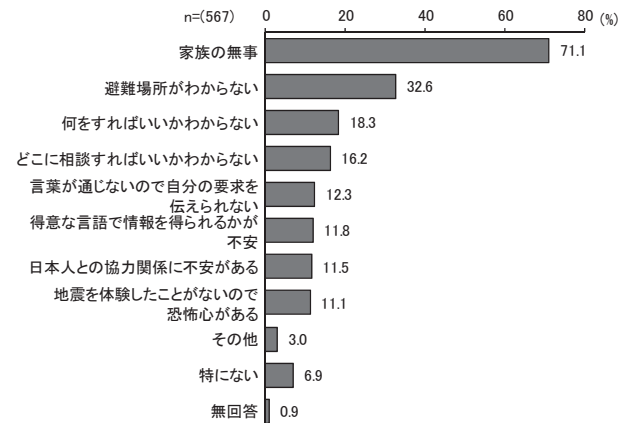
2) 地域で行われている防災訓練の認知度

◇「知らない」が74.3%で「知っている」を上回る
 問22 地域で行われている防災訓練を知っていますか。(〇は1つだけ)



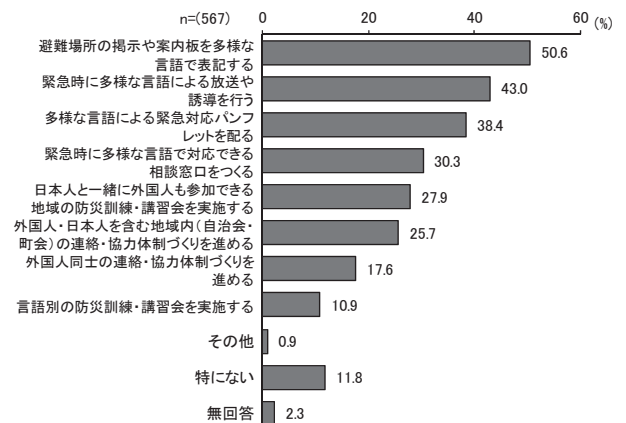
3) 災害が起きた時に心配なこと

◇「家族の無事」が71.1%で最も高い
 問23 地震などの災害が起きたとき、あなたは何が心配ですか。(〇はいくつでも)



4) 区に望む防災対策

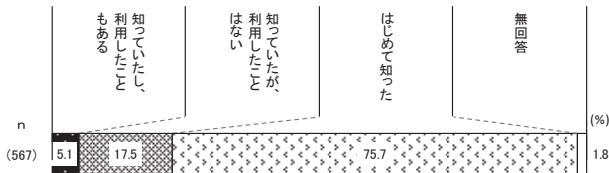
◇「避難場所の掲示や案内板を多様な言語で表記する」が50.6%で最も高い
 問24 大田区にどのような対策を望みますか。(〇はいくつでも)



8. 多文化共生のまちづくりについて

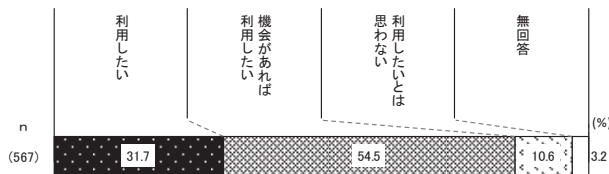
1) 「多文化共生推進センター」の認知度

◇「はじめて知った」が75.7%で最も高い
 問25 大田区には、外国人区民と日本人区民の交流の場として「多文化共生推進センター(micsおおた)」があります。この施設では、多言語相談、区施設への通訳派遣、資料・情報の提供、日本語学習を行っており、どなたでも気軽に利用できます。あなたはこの施設を知っていますか。(〇は1つだけ)



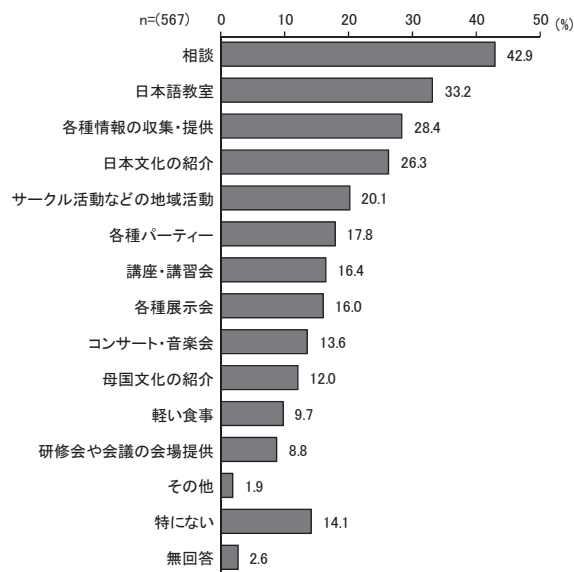
2) 「多文化共生推進センター」の利用意向

◇「機会があれば利用したい」が54.5%で最も高い
 問26 今後、この施設を利用したいと思いますか。(〇は1つだけ)



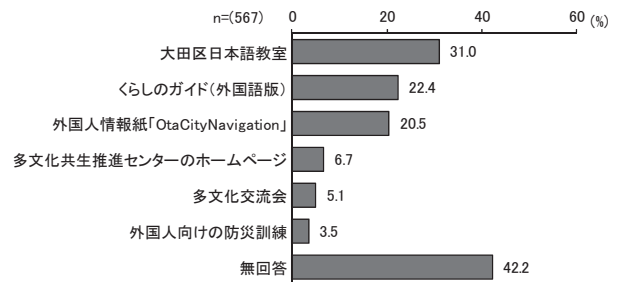
3) 多文化共生推進センターでできるとよいこと

◇「相談」が42.9%で最も高い
 問27 多文化共生推進センターでどのようなことができるとよいと思いますか。(〇はいくつでも)



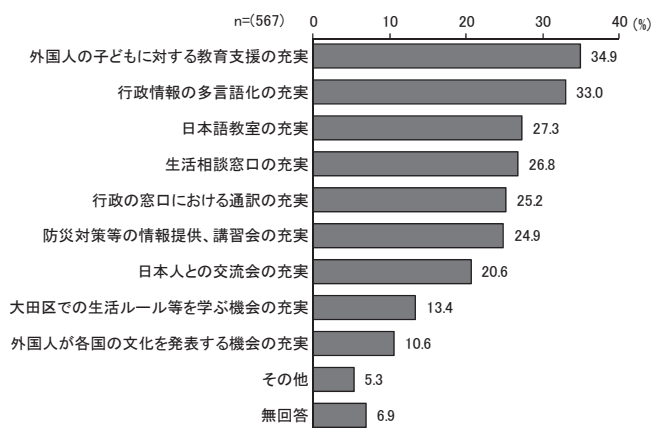
4) 大田区役所が行うサービスの認知度

◇「大田区日本語教室」が31.0%で最も高い
 問28 大田区が行っている以下のサービス等についてご存知ですか。(〇はいくつでも)



5) 大田区役所に望むサービス

◇「外国人の子どもに対する教育支援の充実」が34.9%で最も高く、次いで「行政情報の多言語化の充実」が33.0%
 問29 大田区役所に対してどのようなサービスを望みますか。(〇はいくつでも)



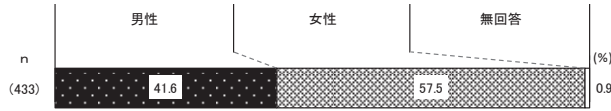
4. 日本人区民調査

1. 回答者自身について

1) 性別

◇「男性」が41.6%、「女性」が57.5%

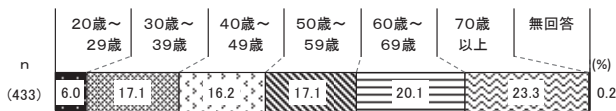
F1 性別をお選びください。(Oは1つだけ)



2) 年齢

◇「70歳以上」が23.3%で最も高い

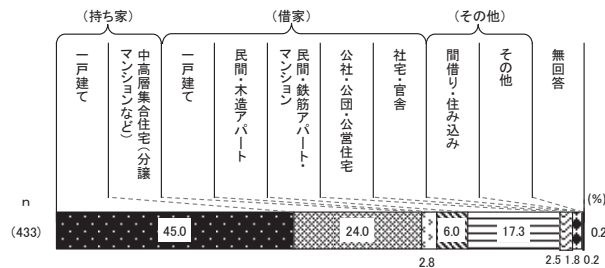
F2 年齢をお選びください。(Oは1つだけ)



3) 住居形態

◇「一戸建て」が45.0%で最も高い

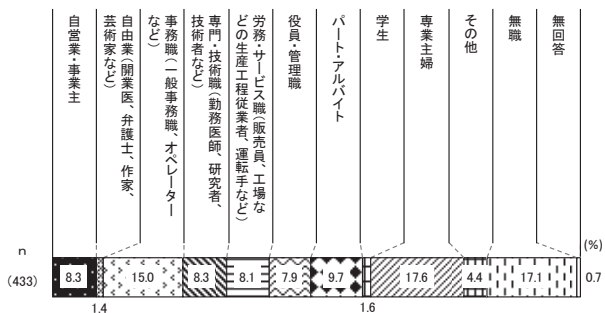
F3 お住まい(住居)は次のうちどれにあたりますか。(Oは1つだけ)



4) 職業

◇「専業主婦」が17.6%、「無職」が17.1%でおおむね並ぶ

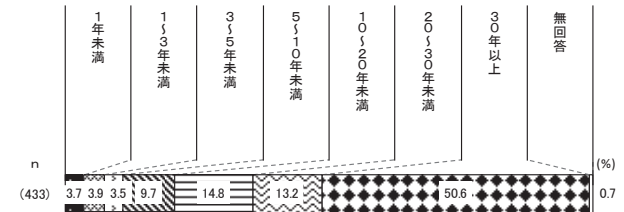
F4 職業は次のどれにあたりますか。なお、2つ以上あてはまる場合は、主として従事している職業を選んでください。(Oは1つだけ)



5) 居住年数

◇「30年以上」が50.6%で最も高い

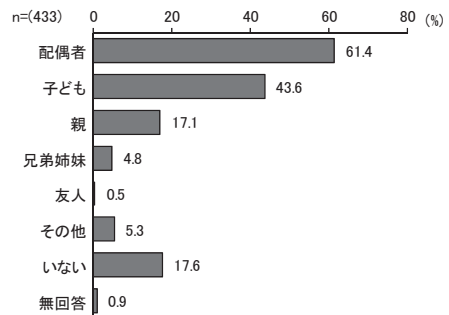
F5 どのくらい大田区にどのくらい住んでいますか。転入・転出したことがある場合は、大田区に住んでいた期間を現在住んでいる期間と合計してお答えください。(Oは1つだけ)



6) 同居家族

◇「配偶者」が61.4%で最も高い

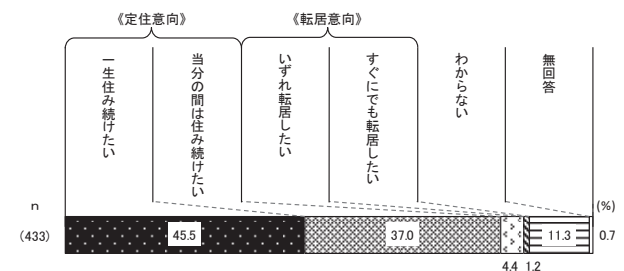
F6 現在一緒に住んでいる人はどなたですか。(Oはいくつでも)



7) 定住意向

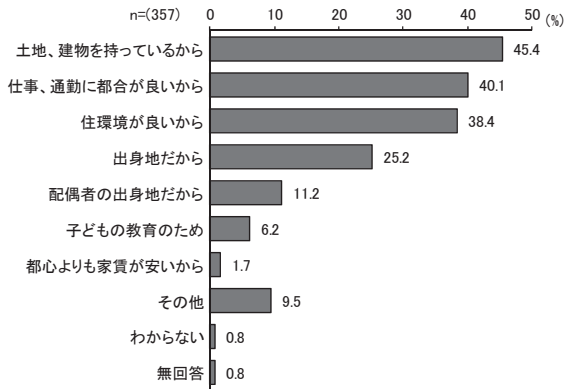
◇《定住意向》が82.5%

F7 これからも大田区に住みたいと思いますか。(Oはひとつだけ)



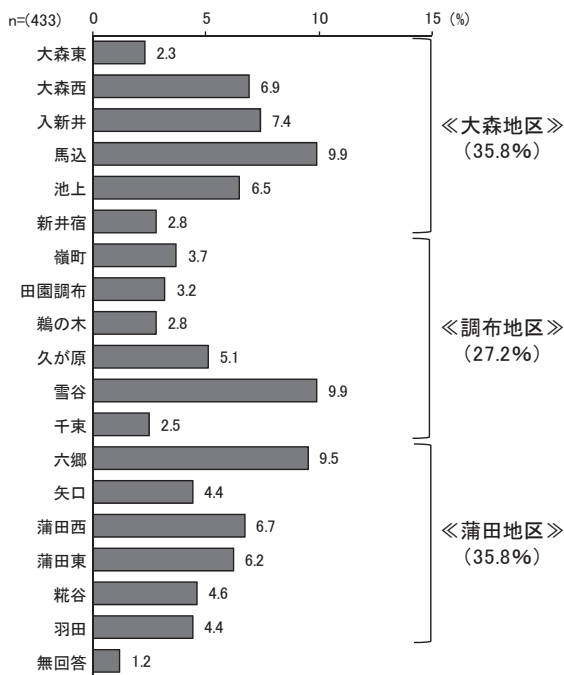
8) 大田区に住みたい理由

◇「土地、建物を持っているから」が45.4%で最も高い
(F7で「1」または「2」とお答えの方にお聞きします)
F7-1 これからも大田区に住みたい理由は何ですか。
(〇は1つだけ)



9) 居住地域

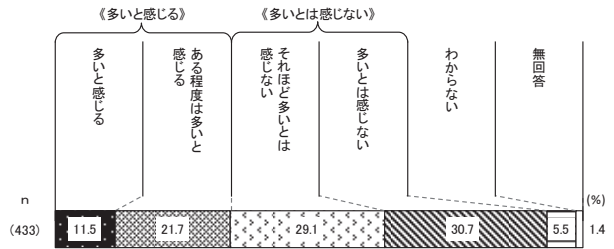
◇《大森地区》と《蒲田地区》が35.8%で並び



2. 暮らしの実感

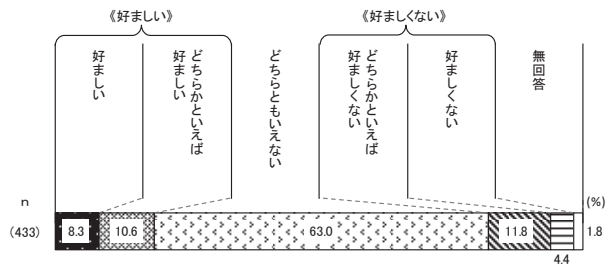
1) 外国人が多いという実感

◇《多いとは感じない》が59.8%で《多いと感じる》を上回る
問1 身近には、外国人区民が多いと感じますか。
(〇は1つだけ)



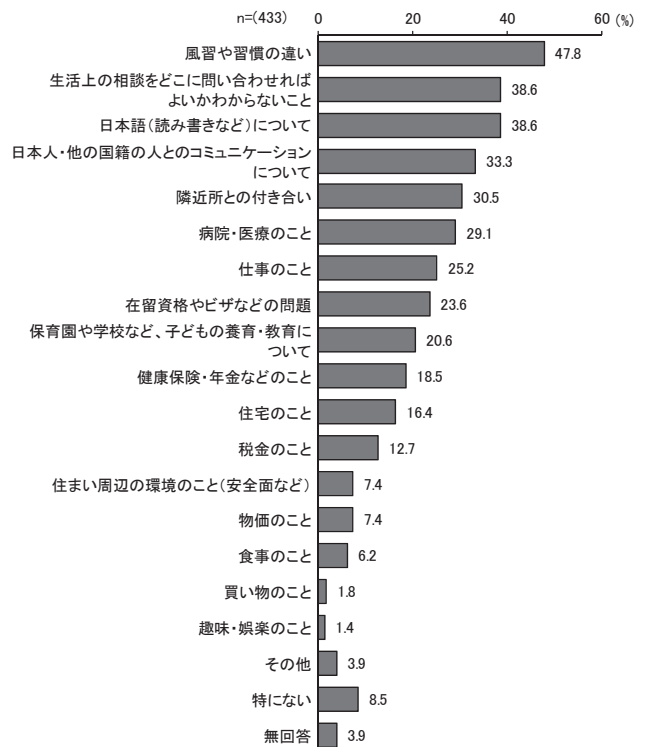
2) 外国人が近所に住むことについての考え

◇「どちらともいえない」が63.0%で最も高い
問2 近所に外国人が住むことについてどう思いますか。
(〇は1つだけ)



3) 外国人が生活で困る・不満を感じること

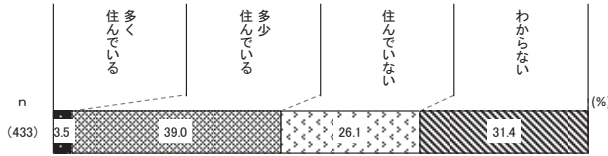
◇「風習や習慣の違い」が47.8%で最も高い
問3 外国人が生活で困っていたり、不満を感じていたりすることは何だと思いませんか。(〇はいくつでも)



3. 地域での交流

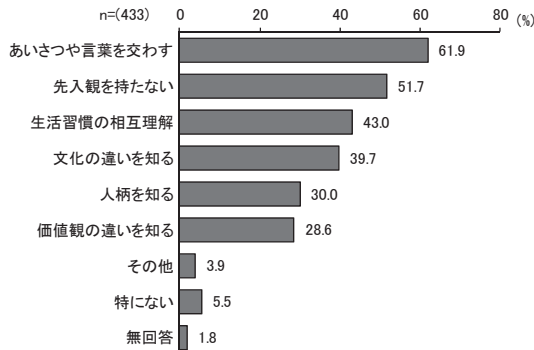
1) 近隣の外国人居住の有無

◇「多少住んでいる」が39.0%で最も高い
 問4 近隣に外国人が住んでいますか。
 (〇は1つだけ)



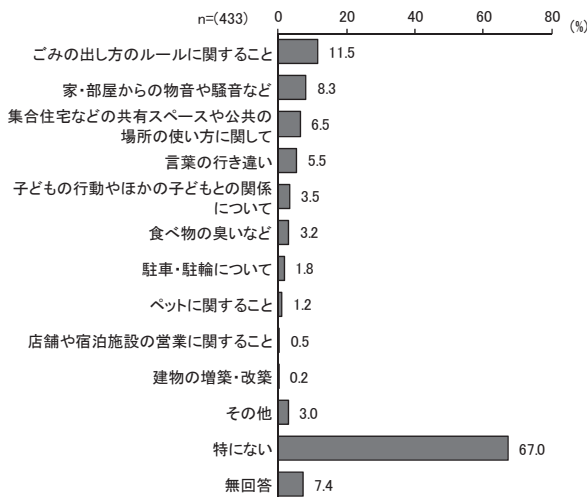
2) 外国人と生活していくうえで大切なこと

◇「あいさつや言葉を交わす」が61.9%で最も高い
 問5 同じ地域で外国人と生活していくうえで大切なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)



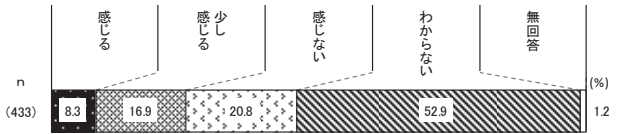
3) 近くに住む外国人との関係で困った経験

◇「ごみの出し方のルールに関すること」が11.5%で高い
 問6 今までに、近くに住む外国人との関係で困った経験がありますか。(〇はいくつでも)



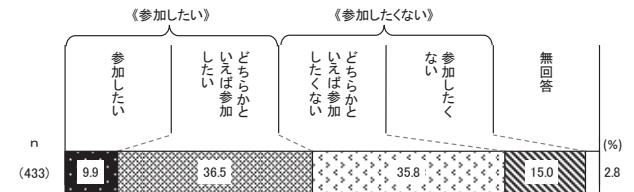
4) 外国人に対する不利益な扱い

◇「わからない」が52.9%で最も高い
 問7 外国人に対する不利益な扱いがあると感じますか。(〇は1つだけ)



5) 外国人との交流イベントの参加意向

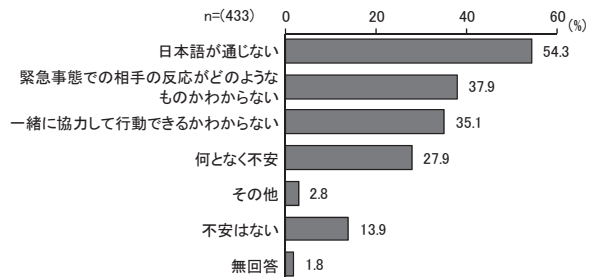
◇《参加したくない》が50.8%
 問8 外国人との交流イベントに参加したいと思いますか。(〇は1つだけ)



4. 災害時・緊急時の協力

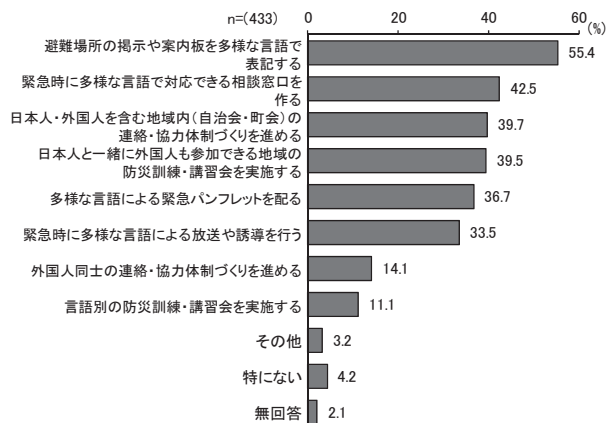
1) 災害時に外国人と避難するうえで心配なこと

◇「日本語が通じない」が54.3%で最も高い
 問9 地震などの災害が起こったときに、外国人と一緒に避難するうえで、どのような心配がありますか。(〇はいくつでも)



2) 区に望む防災対策

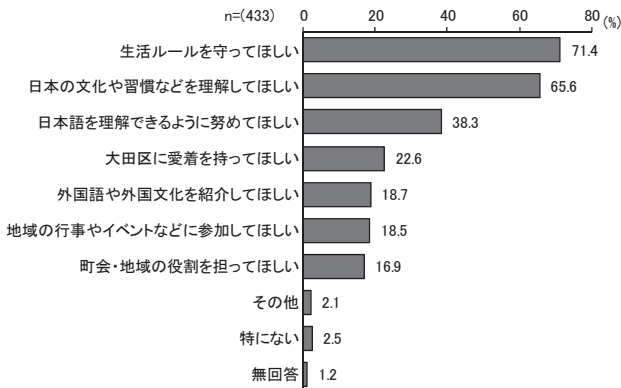
◇「避難場所の掲示や案内板を多様な言語で表記する」が55.4%で最も高い
 問10 地震などの災害が起こったときには、外国人を含めて地域住民で協力しあって対応することが求められます。大田区にどのような対策を望みますか。(〇はいくつでも)



5. 多文化共生のまちづくり

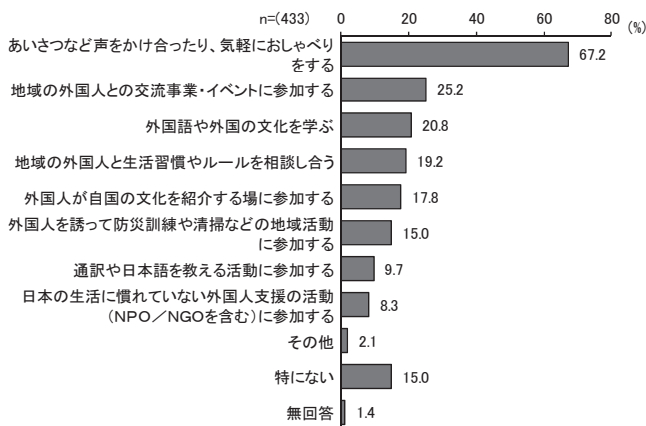
1) 多文化共生を進めるために外国人に望むこと

◇「生活ルールを守ってほしい」が71.4%で最も高い
 問11 地域の外国人と理解しあい、大田区で共に生きていくまちづくりを進めるために、あなたは外国人に何を望みますか。(〇はいくつでも)



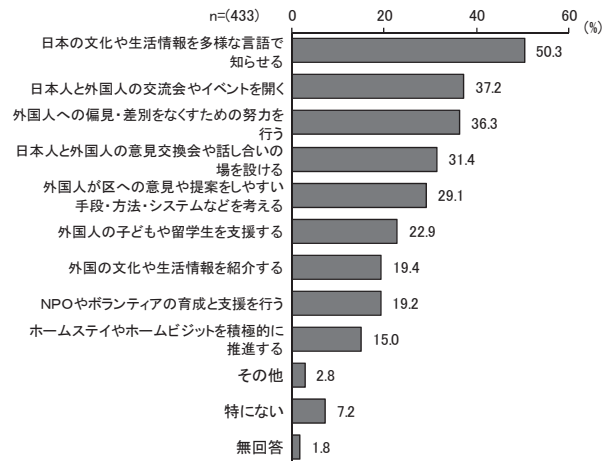
2) 多文化共生を進めるために自分にできること

◇「あいさつなど声をかけ合ったり、気軽におしゃべりする」が67.2%で最も高い
 問12 地域の外国人と理解しあい、大田区で共に生きていくまちづくりを進めるために、あなたは何ができると思いますか。(〇はいくつでも)



3) 多文化共生を進めるための区の対応

◇「日本の文化や生活情報を多様な言語で知らせる」が50.3%で最も高い
 問13 地域の外国人と理解しあい、大田区で共に生きていくまちづくりを進めるために、区の対応としてあなたが力を入れるべきだと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

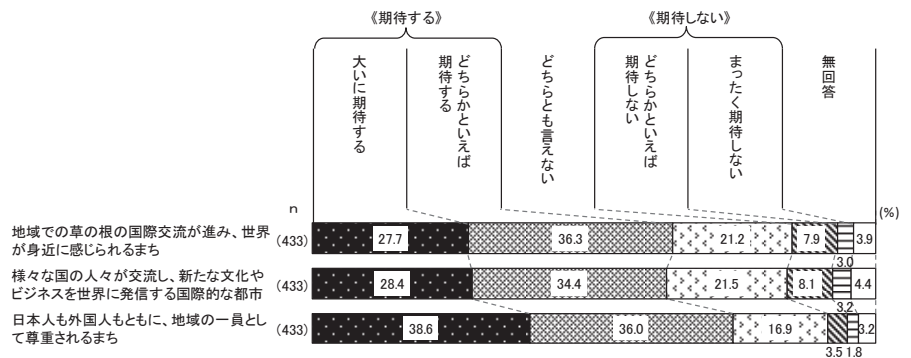


6. 区に期待すること

1) 区に期待する多文化共生のまちづくり

◇《期待する》は“日本人も外国人もともに、地域の一員として尊重されるまち”が74.6%で最も高い。次いで“地域での草の根の国際交流が進み、世界が身近に感じられるまち”が64.0%、“様々な国の人々が交流し、新たな文化やビジネスを世界に発信する国際的な都市”が62.8%

問14 現在、大田区基本構想で、区の将来像として掲げた「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」を実現するため、「おおた未来プラン10年」を策定し、その歩みを進めています。あなたはこれから大田区がどのようなまちになっていくことを期待しますか。(〇はそれぞれ1つ)



【発行】 大田区 観光・国際都市部
 国際都市・多文化共生推進課
 国際都市・多文化共生担当
 〒144-8621 大田区蒲田5-13-14
 ☎ 03-5744-1227 (直通)

設置目的

第1条 国際都市として、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら地域の中でともに暮らしていく多文化共生社会の実現を目指して、多文化共生推進プランを策定するため、大田区多文化共生推進プラン 庁内検討会（以下「庁内検討会」という。）を設置する。

構成

第2条 庁内検討会は、会長、副会長、及び委員をもって構成する。

- 2 会長は、観光・国際都市部長をもって充てる。
- 3 副会長は、国際都市・多文化共生推進課長をもって充てる。
- 4 委員は、別表に定める職にある者をもって充てる。

会議

第3条 庁内検討会は会長が召集する。

- 2 会長が必要と認めたときは、関係職員を庁内検討会に出席させることができる。

作業部会

第4条 会長は多文化共生推進プランの検討等を行うため、係長級以上の職員による多文化共生推進プラン 庁内検討会（作業部会）を設置することができる。

関係者の意見聴取

第5条 庁内検討会は、必要があると認めたとき、関係者に意見を聴き、その他協力を求めることができる。

庶務

第6条 庁内検討会の庶務は国際都市・多文化共生推進課国際都市・多文化共生担当にて処理する。

委任

第7条 この要綱に定めるもののほか、庁内検討会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

付 則 （平成21年5月25日21地地発第10749号）

この要綱は、決定日から施行する。

付 則 （平成26年5月23日26観国発第10210号）

この要綱は、決定の日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

付 則 （平成27年2月13日26観国発第11311号）

この要綱は、決定の日から施行する。

資料-2 (別表)

大田区多文化共生推進プラン 庁内検討会委員

やくしよく 役職	しよく 職
かい ちやう 会 長	かんこう こくさいと し ぶ ちやう 観光・国際都市部長
ふくかいちやう 副会長	かんこう こくさいと し ぶ こくさいと し た ぶん か きやうせいすいしん か ちやう 観光・国際都市部国際都市・多文化共生推進課長
い いん 委 員	く ちやうせいさくしつせいさく か ちやう 区長政策室政策課長
〃	く ちやうせいさくしつこうほう か ちやう 区長政策室広報課長
〃	けいかくざいせい ぶ けいかくちやうせいたんとう か ちやう 計画財政部計画調整担当課長
〃	そうむ ぶ じんけん だんじよびやうどうすいしん か ちやう 総務部人権・男女平等推進課長
〃	そうむ ぶ じんざいいくせいたんとう か ちやう 総務部人材育成担当課長
〃	ち いきりよくすいしん ぶ ち いきりよくすいしん か ちやう 地域力推進部地域力推進課長
〃	ち いきりよくすいしん ぶ ほうさい か ちやう 地域力推進部防災課長
〃	かんこう こくさいと し ぶ かんこう か ちやう 観光・国際都市部観光課長
〃	く みん ぶ こ せきじゆうみん か ちやう 区民部戸籍住民課長
〃	く みん ぶ こく ほ ねんきん か ちやう 区民部国保年金課長
〃	さんぎやうけいざい ぶ さんぎやうしんこう か ちやう 産業経済部産業振興課長
〃	ふくし ぶ ぶくし かんり か ちやう 福祉部福祉管理課長
〃	ほけんじよ ほけんえいせい か ちやう 保健所保健衛生課長
〃	かてい ぶ こ ぞだ し えん か ちやう こども家庭部子育て支援課長
〃	かてい ぶ ほいく さーびす か ちやう こども家庭部保育サービス課長
〃	すいしん ぶ かんり か ちやう まちづくり推進部まちづくり管理課長
〃	とし き ばんせい び ぶ とし き ばんかんり か ちやう 都市基盤整備部都市基盤管理課長
〃	かんぎやうせいそう ぶ かんぎやうせいそうかんり か ちやう 環境清掃部環境清掃管理課長
〃	きやういくそうむ ぶ かくむ か ちやう 教育総務部学務課長
〃	きやういくそうむ ぶ しどう か ちやう 教育総務部指導課長
〃	きやういくそうむ ぶ しゃかいきやういく か ちやう 教育総務部社会教育課長

2014年 (平成26年)	3月	おおた く ねん き ほん けい か く みらい ぶ ら ん ねん こう き 大田区10か年基本計画「おおた未来プラン10年(後期)」 さくてい 策定
	6月25日	だい かい おおた く た ぶん か きょうせいすいしん ぶ ら ん ちょうないけんとうかい 第1回大田区多文化共生推進プラン庁内検討会
	7月22日 ～8月20日	おおた く た ぶん か きょうせいじつたいちょう さじつ し 大田区多文化共生実態調査実施 あ ん けー と ちょう さ ・アンケート調査 い ん た び ゅー ちょう さ ・インタビュー調査
	8月19日	だい かい さぎょう ぶ かい 第1回作業部会
	10月30日	だい かい さぎょう ぶ かい 第2回作業部会
	11月4日	だい かい おおた く た ぶん か きょうせいすいしん ぶ ら ん ちょうないけんとうかい 第2回大田区多文化共生推進プラン庁内検討会 ぶ ら ん そあん さくせい ・プラン(素案)作成
	11月20日	おおた く た ぶん か きょうせいすいしんきょうぎかい ぶ ら ん そあん いけん 大田区多文化共生推進協議会からプラン(素案)意見 ちょうしゅう 聴収
	11月21日	おおた く こくさいこうりゅうだんたい ぶ ら ん そあん いけんちょうしゅう 大田区国際交流団体からプラン(素案)意見聴収
	12月11日 ～12月31日	ぱ ぶ り っ く こ め ん と じ つ し パブリックコメント実施
1月30日	だい かい おおた く た ぶん か きょうせいすいしん ぶ ら ん ちょうないけんとうかい 第3回大田区多文化共生推進プラン庁内検討会 ぶ ら ん あん さくせい ・プラン(案)作成	
2015年 (平成27年)	2月16日	おおた く た ぶん か きょうせいすいしんきょうぎかい ぶ ら ん あん ほうこく 大田区多文化共生推進協議会にプラン(案)報告
	3月	こくさいこうりゅうだんたい ぶ ら ん あん ほうこく 国際交流団体にプラン(案)報告
	3月	おおた く た ぶん か きょうせいすいしん ぶ ら ん かいていばん さくてい 大田区多文化共生推進プラン(改定版)策定

おおたく たぶん かきょうせいすいしんぶらん かいていばん
大田区多文化共生推進プラン (改定版)
2015 ~ 2018 年度 (平成 27 ~ 30 年度)

はっこうび へいせい ねん がつ
発行日 平成 27 年 3 月

はつ こう おおたく かんこう こくさいとしぶ
発行 大田区観光・国際都市部
こくさいとし たぶん かきょうせいすいしんか
国際都市・多文化共生推進課

TEL 03-5744-1227

FAX 03-5744-1518